



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550 URL <http://www.nissui-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 小野 徳哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 谷津 精一

TEL 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,623	△16.5	340	△42.4	1,105	22.4	745	31.6
26年3月期第1四半期	3,143	△0.9	591	1.9	903	43.6	566	103.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	33.28	—
26年3月期第1四半期	25.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	32,104	29,221	91.0	1,304.74
26年3月期	32,290	29,213	90.5	1,304.36

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 29,221百万円 26年3月期 29,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,750	3.8	1,450	6.9	1,850	7.6	1,200	12.6	53.58
通期	13,500	2.7	2,900	2.0	3,700	1.5	2,400	4.1	107.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	22,547,140 株	26年3月期	22,547,140 株
27年3月期1Q	150,683 株	26年3月期	150,493 株
27年3月期1Q	22,396,585 株	26年3月期1Q	22,397,025 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、一連の経済政策を背景に、企業の設備投資増加や雇用環境改善に合わせ、個人消費が堅調に推移するなどの緩やかな景気回復の動きが見られたものの、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に対する反動がありました。一方、海外においては、中国などの新興国における景気減速や欧州での政治問題が経済活動に影響を及ぼし、先行き不透明な状況が続いております。

臨床診断薬業界においては、微生物学的診断用薬分野の一部項目での診療報酬点数増加、産業検査薬業界においては、食の安全性に対する消費者のニーズが一層高まるなどの回復材料はあるものの、その一方で診療報酬改定による検体検査実施料(全体)の減少傾向や業界内の価格競争の激化など、厳しい事業環境が続いております。

医薬品業界においては、後発医薬品やスイッチOTC医薬品促進等の医療費抑制施策の基調に変化はなく、OTC医薬品市場は依然として国内需要の前年割れの傾向が続いており、今後も厳しい事業環境が続くことが予想されます。

また、化粧品業界においては、海外メーカーや他業種の市場参入による競争の激化により、低価格商品への需要シフトなどが影響して市場回復が見られず、市場規模は横ばいから微減傾向で推移しております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ5億19百万円(16.5%)減少し、26億23百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ2億50百万円(42.4%)減少し3億40百万円、経常利益は投資有価証券売却益の発生などにより前年同四半期に比べ2億2百万円(22.4%)増加し11億5百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ1億78百万円(31.6%)増加し7億45百万円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

臨床診断薬事業においては、微生物学的診断用薬分野は診療報酬改定の影響も少なく、ほぼ横ばいに推移いたしましたが、免疫血清学的診断用薬分野の診療報酬改定およびそれに伴う価格競争等の影響により、売上高は前年同四半期に比べ2億46百万円(17.8%)減少し11億34百万円となりました。分野別では、微生物学的診断用薬が4億8百万円、免疫血清学的診断用薬が5億81百万円、精度管理用血清他が94百万円、検査用機器および器材他が49百万円となりました。この事業の営業利益は前年同四半期に比べ1億32百万円(35.4%)減少し2億41百万円となりました。

産業検査薬事業においては、消費者庁の変更通知に準拠した、食物アレルギー検査薬の改良品等は順調に推移いたしましたが、微生物学的検査薬分野における主力品である粉末顆粒培地の売上低迷の影響もあり、売上高は前年同四半期に比べ44百万円(6.3%)減少し6億59百万円となりました。分野別では、微生物学的検査薬が5億36百万円、免疫血清学的検査薬が95百万円、検査用機器および器材他が27百万円となりました。この事業の営業利益は前年同四半期に比べ39百万円(17.1%)減少し1億90百万円となりました。

医薬事業においては、当第1四半期累計期間における消費税増税後の個人消費の鈍化を見込み、付加価値提供や販売力強化に取り組んでまいりましたが、売上高は前年同四半期に比べ1億53百万円(19.1%)減少し6億52百万円となりました。分野別では、医薬品が3億73百万円、健康食品他が2億79百万円となりました。この事業の営業利益は前年同四半期に比べ36百万円(37.2%)減少し61百万円となりました。

化粧品事業においては、医薬品事業と同様に当第1四半期累計期間における消費税増税後の個人消費の鈍化を見込み、リスブランブランドの対面販売力強化や取扱店拡大に取り組んでまいりましたが、売上高は前年同四半期に比べ75百万円(29.9%)減少し1億77百万円となりました。この事業の営業利益は前年同四半期に比べ43百万円(57.6%)減少し32百万円となりました。

ただし、各事業に配賦できない支援部門に係る費用等1億84百万円が控除されておりません。

(2)財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1億85百万円減少し321億4百万円となりました。主な増加は現金及び預金1億9百万円、有価証券3億6百万円によるもので、主な減少は受取手形及び売掛金6億46百万円、繰延税金資産1億21百万円によるものです。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億93百万円減少し28億83百万円となりました。主な増加は流動負債のその他(未払金6億94百万円、預り金1億22百万円)によるもので、主な減少は支払手形及び買掛金1億21百万円、未払法人税等6億28百万円、賞与引当金1億41百万円によるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ8百万円増加し292億21百万円となりました。

この結果、自己資本比率は91.0%となりました。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点では平成26年5月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,168	3,278
受取手形及び売掛金	3,226	2,579
有価証券	513	819
商品及び製品	1,558	1,638
仕掛品	358	390
原材料及び貯蔵品	851	746
繰延税金資産	209	87
関係会社預け金	5,188	5,198
その他	129	225
貸倒引当金	△27	△22
流動資産合計	15,176	14,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,072	2,037
機械装置及び運搬具 (純額)	418	390
土地	2,770	2,770
建設仮勘定	64	71
その他 (純額)	43	47
有形固定資産合計	5,369	5,316
無形固定資産		
ソフトウェア	22	19
その他	12	12
無形固定資産合計	35	31
投資その他の資産		
投資有価証券	11,513	11,572
繰延税金資産	-	33
その他	220	228
貸倒引当金	△25	△20
投資その他の資産合計	11,708	11,814
固定資産合計	17,113	17,162
資産合計	32,290	32,104

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年 3 月31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 6 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,100	978
未払法人税等	826	198
賞与引当金	191	50
役員賞与引当金	26	9
歩戻引当金	17	26
その他	482	1,243
流動負債合計	2,645	2,507
固定負債		
退職給付引当金	3	3
その他	427	372
固定負債合計	431	375
負債合計	3,076	2,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	19,041	19,361
自己株式	△97	△97
株主資本合計	28,771	29,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	441	129
評価・換算差額等合計	441	129
純資産合計	29,213	29,221
負債純資産合計	32,290	32,104

(2) 四半期損益計算書

第 1 四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
売上高	3,143	2,623
売上原価	1,531	1,311
売上総利益	1,611	1,312
販売費及び一般管理費	1,020	971
営業利益	591	340
営業外収益		
受取利息	37	17
受取配当金	46	58
為替差益	-	0
投資有価証券売却益	217	664
投資有価証券償還益	47	-
デリバティブ評価益	-	1
その他	6	22
営業外収益合計	355	764
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	1	-
デリバティブ評価損	42	-
その他	0	0
営業外費用合計	43	0
経常利益	903	1,105
特別損失		
固定資産処分損	0	6
投資有価証券評価損	-	21
特別損失合計	0	27
税引前四半期純利益	903	1,077
法人税、住民税及び事業税	250	211
法人税等調整額	86	120
法人税等合計	336	332
四半期純利益	566	745

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,380	703	805	253	3,143
セグメント利益	374	229	97	76	777

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	777
全社費用(注)	△186
四半期損益計算書の営業利益	591

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

② 当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,134	659	652	177	2,623
セグメント利益	241	190	61	32	525

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	525
全社費用(注)	△184
四半期損益計算書の営業利益	340

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。